

運転時認知障害早期発見チェックリスト 15

【提供】特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会

【監修】日本認知症予防学会理事長 浦上克哉

- 車のキーや免許証などを探し回ることがある。
- 道路標識の意味が思い出せないことがある。
- スーパーなどの駐車場で自分の車を停めた位置が分からなくなることがある。
- 良く通る道なのに曲がる場所を間違えることがある。
- 車で出かけたのに他の交通手段で帰ってきたことがある。
- アクセルとブレーキを間違えることがある。
- 曲がる際にウインカーを出し忘れることがある。
- 反対車線を走ってしまった（走りそうになった）。
- 右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみにくくなった。
- 車間距離を一定に保つことが苦手になった。
- 合流が怖く（苦手に）なった。
- 駐車場所のラインや、枠内に合わせて車を停めることが難しくなった。
- 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった。
- 運転している時にミスをしたたり危険な目にあったりすると頭の中が真っ白になる。
- 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった。

上記チェックリストは、「運転時認知障害早期発見チェックリスト 30」から抜粋しております。

3つ以上チェックが付いたら、要注意です。

「運転時認知障害早期発見チェックリスト 30」は特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会ホームページ <http://sdsd.jp/>からご覧ください。